

馬町爆撃を語るろう会

第一部

DVD (文部科学省選定作品) … (27分)

「とどけられた遺書―語りつぐ京都の戦争―」
を見ます。

☆これは大阪・羽衣国際大学・放送・メディア映像学
科の学生たちが制作した作品。戦争体験者が少なくなり
戦争の実相が風化しています。戦犯として絞首刑になっ
た学徒兵(京都出身)の遺書が主題、そして、DVDに
は、馬町爆撃の映像と、町の人のお話も入っています。
同大学から先生や学生も当日参加されます



第二部

爆撃のあった日に、
爆撃にあった場所で
爆撃を語ろう

★馬町は、前の戦争で京都市内で最初
に爆撃され、死者34名・負傷者56名・被
爆した全壊31・半壊11軒、修道校・京都
女子学園も被害を被りました。
時は、1945年(昭和20)1月16日・夜11:20

分。米空軍機B29が250ポンド高性能爆弾
を約20発投下したと米軍資料に書かれ
ています。

軍事施設も工場も無く、市民しかいな
いところに爆弾を落とす、平時では考え
られないことが戦争では平気で行われる
のです。馬町の爆撃が、それを教えていま
す。その教訓を後の世代に語り継ぐのも
戦争世代の責任ではないでしょうか？。



写真・上、爆撃の被害
を受けた京都女専
(現・京都女子学園)



写真・下、爆撃の被害
家屋から罹災者を探す警防
団の人たち

◎日時：平成24年1月16日(月)

午後7時30分～9時10分

◎場所：旧・修道小学校・図書室

京都市東山区渋谷通東大路東入

市バス：馬町バス停・すぐ東

主催：馬町爆撃を語るろう会(仮称)

仮連絡場所：075・561・7974 渋谷

入場無料

協賛：修道自治連合会